

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 海に潜ると小さな魚がいた。

もぐる

② 玉をころがしてあそぶ。

たま

③ えんぴつが一本ある。

いっぽん

④ 牛の乳を手で搾る。

しぼる

⑤ 道徳のじゅぎょうをうける。

どうとく

⑥ なくした物を探す。

さがす

⑦ 花だんにチューリップを植える。

うえる

⑧ 六年生で学校を卒業する。

そつぎょう

⑨ 走って汗をかく。

あせ

⑩ 犯人をさがす。

はんにん

⑪ 事務のしごとをする。

じむ

⑫ 蚕をそだてる。

かいこ

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 口

3
画

② 卸

9
画

③ 時

10
画

④ 滞

13
画

三 線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい
くるまがとまる。

止
まる

① 友だちを遊びにさそう。

誘
う

② おかねがたりる。

足
り
る

③ とげが指にささる。

刺
さ
る

④ 風船が大きくふくらむ。

膨
ら
む

⑤ ボールを遠くまでなげる。

投
げ
る

四 次の熟語の組み立ては、「」のアーエのどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 緩急
イ

② 伸縮
イ

③ 解雇
エ

④ 湿润
ア

⑤ 粗密
イ

⑥ 盛衰
イ

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やすむ① 遭
(しんよう)① 遭
あう② 逮
たい捕③ 疾
(やまいだれ)③ 疾
しっ走④ 癖
くせ⑤ 才
(てへん)⑤ 交
かん換

⑥

控
ひかえる

六

反対の意味のことを、「[からえらんで漢字で書きましょう。]

れい

大きい ⇄ 小さい

「あいご じつざい そくしん こりつ とうけつ
ぐうすう」

① 解凍 ⇄

凍 結

② 架空 ⇄

実 在

③ 奇数 ⇄

偶 数

④ 連帯 ⇄

孤 立

⑤ 抑制 ⇄

促 進

⑥ 虐待 ⇄

愛 護

七 次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① ハナやかなドレスをきる。

華

② アヤしい人かげを見た。

怪

③ ケイ帯電話をポケットに入れる。

携

④ 図書館で本をエツ覧する。

閲

⑤ 地ゴクのような暑さだ。

獄

⑥ ギ牲をはらって村を守る。

犠

⑦ さいごまで意志をツラヌく。

貫

八 次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の□に書きましょう。

① 本の害要を短く説明した。

誤
害
正
概

② 部活動の古問の先生はとても熱心だ。

誤
古
正
顧

③ 約束の日を感違いいしていた。

誤
感
正
勘

④ 衛星が予定の規道に入った。

誤
規
正
軌

⑤ 理科の時間に干臓の働きを学んだ。

誤
干
正
肝

⑥ 店から代金の製求書がとどいた。

誤
製
正
請

⑦ 条件に外当する人は申しこめる。

誤
外
正
該

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 取捨選択

よいものを取り、いらないものをして、えらぶこと。

② 気炎万丈

ものすごくさかんな、いきおい。

③ 心頭滅却

心の中のよけいな思いを、すっかり消すこと。

④ 奮励努力

気力をふるいおこして、一生けんめいにつとめること。

⑤ 暖衣飽食

あたたかい服を着て、十分に食べる、ゆたかな暮らし。

⑥ 免許皆伝

師が弟子に、芸のすべてを教えること。

＋ 線のことばを、漢字で書きましょう。

① もうれつないきおいで走る。

猛烈

② さがけんは、九州にある。

佐賀県

③ いけんをのべる。

述

④ きつさ店で休む。

喫茶

⑤ きんじょの人にあいさつをする。

近所

⑥ シャワーをあびる。

浴

⑦ 二字のじゆくごを作る。

熟語

⑧ 店をいとなむ。

営

⑨ あさからあめがふっている。

雨

⑩ つめたい風がふく。

吹

⑪ 母とぎんこうに行った。

銀行

⑫ きようは車がすくない。

少

